

五葉松の粒を飲んだら 卵巣の腫瘍摘出後の治療が 順調に進み子宮筋腫も消失した

**手術前から飲んだら
免疫力が向上し
入院期間が短縮できた**

岐阜市に住む主婦の中村麻理子さん（四十二歳）は、二〇一二年十二月に受けた婦人

なかむら まりこ
中村麻理子さんのカルテ

Harte

✖	発症	39歳	婦人科検診を受けると、右の卵巣に腫瘍が見つかる
☺	開始	39歳	手術を受ける3ヵ月前の2012年3月から、朝・昼・晩の食後に5粒ずつ飲む
☺	改善	39歳	手術前の検査で血液検査の数値に問題はなく、手術後は予定していた入院期間より早く退院
☺	現在	42歳	インフルエンザやカゼを引かなくなるなど、免疫力の向上を実感

科検診で、右の卵巣に腫瘍が見つかりました。

「最初に検診を受けた地元の病院では、『子宮筋腫か右の卵巣の腫瘍か、もしくは腸管の腫瘍と思われるが、よくわからない』といわれ、診察科

をたらい回しにされました。不安になって母に連絡すると、『五葉松の粒を飲んでみたら』といわれたんです。母の知人が五葉松の粒を飲んで、大病から回復したそうです」

それまで五葉松の粒の存在を知らなかったという中村さん。少しでも不安から解放されたい気持ちから、半信半疑ながらも飲みはじめ

めることにしたそうです。

「最初は多めに飲んだほうがいいと母がいったので、朝・昼・晩の食後に五粒ずつ、一日計一五粒を飲みはじめました」

はつきりとした病名を知りたいと思った中村さんは、セカンドオピニオン（主治医以外の医師による診断）を求めて、大病院を訪れました。二〇一二年三月のことです。

「精密検査を受けた結果、右の卵巣に腫瘍があることがわかりました。手術は六月八日に地元の病院で行うことになりました」

手術日まで約三ヵ月。それまでに少しでも免疫力を高めたいと思った中村さんは、毎日、五葉松の粒を飲みつづけ

たそうです。

「手術日には少し貧血の症状を感じましたが、血液検査の数値は問題なく、手術は予定どおりに行われました。開腹手術によって、五葉松の腫瘍を摘出しました」

手術後の経過は良好で、予定していた二週間の入院期間を一〇日に短縮できたそうです。その後も中村さんは油断することなく、五葉松の粒を飲みつづけました。

「病理検査の結果を聞いたところ、摘出した腫瘍は良性と



五葉松の粒には免疫力向上作用、抗がん作用、抗ウイルス作用が確かめられているリグニン配糖体という成分が凝縮されている



五葉松が持つ強い生命力を凝縮した五葉松の粒に注目が集まっている

わかりました。だからといって、安心はできません。どんなに生活習慣に気をつけても、どれだけ入念に検査を受けていても、完璧なことはないという不安が心の中にずっとありました。そんな私にとって、五葉松の粒はお守りのように欠かせないものになっていました」

**定期検診で異常はなく
カゼも引かない健康体
でがんを防いでいる**

現在の中村さんの体に異常は見られず、検査で調べてい

るすべての数値に關して、問題はまったくないそうです。

「これまでカゼを引くと、毎年のように高熱が出たり、のどが痛んだりしていたのですが、五葉松の粒を飲むようになってから、カゼを引きにくくなりました」

中村さんは、みずからの体質の変化に、驚かされることが多いといいます。

「インフルエンザがはやった



中村さんは担当医の指導を守りながら、免疫力向上のために五葉松の粒を毎日飲みつづけている

とき、職場の仲間がみんな寝込んでしまったのに、私だけ元気に仕事をしていることもありました。最近では、これまで五葉松の粒に関心がなかった主人も、「五葉松の粒はどこにあるの」といって、飲みはじめています」

卵巣腫瘍の手術を経験した中村さんが痛切に感じているのが、定期検診の大切さです。

「卵巣に腫瘍が見つかったときは痛みがなかったこともあって、「おなかかぼこつと出ている」くらいにしか思っていないませんでした。気軽に受けた婦人科検診で腫瘍が見つかったのは、幸いなことでした。検診を受けてよかったです」

その後、中村さんは二〇一二年に受けた検診で子宮筋腫が見つかったものの、翌年に受けた検診では筋腫が消失していたそうです。

「いまでも定期的に検診に行くようにしています。先日は初めて胃カメラを使った検査を受けて、担当の先生から、『食道も胃もきれいです』といわれました。でも、健康に對して、過信は禁物です。がんを防ぐために、五葉松の粒を飲みつづけるながら、毎年受ける検診を欠かさないようにしたいと思います」

ワンポイントアドバイス

生命力が強い五葉松の種子には、リグニン配糖体と呼ばれる成分が豊富に含まれ、抗がん作用を発揮することが昭和大学医学部の研究で明らかになっています。126～127頁で解説をしている高橋弘憲たかはしひろのり医師(太陽クリニック院長)によると、粒を噛みくだいてエキスを口中やのどに行き渡らせるようにして飲むと、有効成分の働きが高まりやすいとのこと。